



南東北グループ  
医療法人財団 健貢会  
総合東京病院広報誌



医療連携支援センター  
地域連携室  
TEL: 03-3387-5444

編集・発行／総合東京病院  
印刷／石井電算印刷株式会社

# Letter

2022.4  
vol. 1



総合東京病院 院長  
渡邊 貞義

## 地域医療への更なる貢献をめざして

総合東京病院は地域住民の皆さんや医療従事者の皆さんからの温かいご支援のもと、4月に開院13年目を迎えることができました。

医療従事者向けの研修会やオンライン市民公開講座の開催や地域連携スタッフによる診療所の訪問などを実施し、地域との連携した医療の提供を強化してまいりました。これまでの成果が認められ、当院は今年の3月31日に**地域医療支援病院**に承認されました。

また診療体制の強化を図り、4月に16名の常勤医師を新たに迎えることができました。院是である「すべては患者さんのために」を胸に、これからも地域のための病院運営に励んで参ります。引き続き、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## ☆今月のキラリスタッフ紹介☆

はじめまして、リハビリテーション科の矢田谷克彦です。普段は理学療法士として勤務しています。しかし昨年度は新型コロナウイルスの蔓延に伴い、感染対策室の一員として働く時期がありました。新型コロナウイルスに関してはもちろんのこと様々な経験・勉強をさせて頂きました。この経験を活かしつつ、日々の業務に携わっていきたいです。

またこの4月から新たな仲間も増え、リハビリテーション科は総勢約200人となりました。私自身6年目となり科内では「中堅」という立場になると思います。これからは「良きリーダーであり良き補佐役であること」を目指していきたくと考えています。自身の成長は当然の事ながら、先輩のサポートや後輩の指導・育成に励みたいですね。

終わりになりますが「すべては患者さんのために」という理念の下、さらに地域に貢献できる病院を目指し、一職員として尽力していきます。



リハビリテーション科  
矢田谷 克彦

## Report

### 感染対策室から

当施設は地域の中核病院として急性期医療を担っており、多くの患者さんが当院で治療を受けています。現在はコロナ禍で、患者さんには感染防止対策にご協力をいただきながら必要な治療を受けていただいておりますが、ご迷惑もおかけしていることと存じます。患者さんに安全な医療を受けていただくために、そして職員を感染症から守るために趣味のサーフィン、家庭とのバランスをとりながら、今後も一生懸命頑張りたいと思います。



感染管理認定看護師  
海老名 昭寛



ICTラウンドの様子

## 登録医の先生のご紹介



大場診療所 副院長  
中野区医師会長  
渡邊 仁先生

大場診療所は60年前に私の父が開業して以来、一貫して地域のかかりつけ医としての機能を保っています。患者さんの高齢化が進み、基礎疾患に加え、血管障害や悪性腫瘍等の合併も多く、専門性の高い総合東京病院との連携は欠かせません。引き続き、緊密に連携し、患者さんに最適な医療を提供していきたいと考えています。

総合東京病院が2022年4月に中野区で初めての地域医療支援病院を取得したことは中野区にとってとても心強いことです。引き続き、地域の中核病院としての機能の充実に期待しています。



医療法人社団 渡辺会 大場診療所  
〒165-0034 中野区大和町3-40-6  
TEL: 03-3330-0073  
診療科: 内科、胃腸科、循環器科、小児科

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●
15:00~17:30	●	●	●	●	●	/
休診日	祝日、日曜					



医療コラム

## 花粉症の薬を飲むと眠くなるのはなぜ？

花粉症治療薬の多くは、アレルギーを引き起こす原因となるヒスタミンという神経伝達物質の作用を妨げる「抗ヒスタミン薬」です。ヒスタミンの代わりに鼻や目の粘膜にあるヒスタミン受容体に結合し、花粉症によるアレルギー症状を和らげてくれます。

ヒスタミン受容体は、全身に存在し、脳では覚醒作用・興奮作用に関わっています。抗ヒスタミン薬が脳に入り、脳のヒスタミン受容体に結合して覚醒作用、興奮作用を弱め、眠気や集中力の低下を引き起こしてしまうのです。

花粉症治療薬の服用を検討している方は、医師または薬剤師に相談して、ご自身の症状と生活スタイルに合う薬を探してみてください。

●薬剤科 松田裕美



医療コラムの全文は当院ホームページでご覧いただけます。右記QRコードを読み取ってください。→

### \*\*\*ティーサロン\*\*\*

「ドクター塚原の心臓病ティーサロン」では身近な病気への対処法や日々の健康について、毎回ゲストを迎え、副院長・循環器センター長の塚原玲子医師とともにざっくばらんに対談します。2022年第1回目は「心臓のドキドキって病気？」をテーマに、循環器内科の西尾智医師がオンラインにて講演を行いました。次回は、心臓血管外科の砂田将俊医師による講演を予定しています。

講演動画はこちら↓



## TOPICS

### ホームページ情報

- 当院脳神経外科 福島孝徳医師による動画シリーズを掲載しました。福島医師動画10本目となる今回は、小児の脳神経外科医の酒井淳医師との対談です。  
ひとりでも多くの患者さんを救うために全力を尽くす両医師。小児の手術に込める思いとは?どうぞご覧ください。
- 「内視鏡検査」動画を掲載しました。当院での内視鏡検査の流れについて、実際の映像をもとにわかりやすく解説いたします。



### LINE登録お願いします!

市民公開講座をはじめとしたイベント情報、最新の動画情報のほか、病院からの旬なお知らせを随時配信しています!

この機会にぜひご登録ください。

QRコードで検索→

ID検索で登録 @tokyohospital



## 新入職医師紹介

4月より16名の常勤医師が入職しました。  
今後さらに充実した医療を提供して参ります。



消化器内科  
消化器疾患センター長  
松橋 信行



整形外科  
下肢関節整形外科部長  
齋藤 修



総合診療科  
科長  
内田 叔宏



循環器内科  
医長  
都築 一平



救急科  
医長  
三浪 陽介



脳神経外科  
医長  
大友 朋子



整形外科  
医長  
太田 友彦



消化器内科  
医員  
田村 哲哉



消化器内科  
医員  
鈴木 英祐



脳神経外科  
医長  
森田 修平



歯科口腔外科  
医長  
加島 義久



リハビリテーション科  
医長  
長谷川 雄紀



呼吸器内科  
医員  
新井 理乃



形成外科  
後期研修医  
永田 宏介



糖尿病・代謝内科  
後期研修医  
野田 日菜子



循環器内科  
後期研修医  
黒住 篤優

### 総合東京病院

〒165-8906 東京都中野区江古田3-15-2

予約・相談ダイヤル  
外来診療  
外来受付時間

0570-00-3387 (月～土曜日 9:00～17:00)  
月～土曜日 9:00～17:00 (日曜・祝日・年末年始をのぞく)  
8:00～11:30 / 12:30～15:00

地域医療支援病院



#### ■ 当院の理念

すべては患者さんのために

#### ■ 個人情報保護について

当院は、患者さんの個人情報について、正確かつ最新の状態に保ち、患者さんの個人情報の漏洩、紛失、破壊、改ざんまたは患者さんの個人情報への不正なアクセスを防止することに努めます。

#### ■ 患者さんの権利

1. 人格が尊重され、最善の医療を公正に受ける権利があります。
2. 病状や医療行為について納得できるまで十分な説明を受ける権利があります。
3. ご自身の選択に基づく医療を受ける権利があります。
4. 他の医師の意見（セカンドオピニオン）を受ける権利があります。
5. ご自身の診療記録の開示を受ける権利があります。
6. 診療上得られた個人情報やプライバシーは保護される権利があります。

#### ■ 患者さんの責務

1. 適切な医療を受けるため、自らの健康状態等、必要とされる情報を可能な限り正確に医療提供者に伝えていただきます。
  2. 医師から十分な情報と説明を受けた上で、診断・治療方針について、自らの意思を明らかにしていただきます。
  3. 治療に必要な指示を守っていただきます。
  4. 病院の快適な療養環境の維持に協力していただきます。
- \* 暴言・暴力や迷惑行為、および器物破損行為を禁止します。  
\* 診療を阻害するような迷惑行為などがあった場合、患者さんおよびご家族の意思に関わらず、退去していただくことがあります。